

令和8年度鳥獣被害実態把握調査業務委託公募型企画提案募集に係る質問に対する回答

番号	質問	回答
1	「仕様書 4 調査内容」の調査終了予定時期はいつでしょうか。	令和 8 年10月30日（金）です。
2	「仕様書 4 調査内容 ・捕獲状況」は、狩猟、箱わな、括りわな等の捕獲方法の別は調査項目にありますか。	捕獲状況については、各市町から国の鳥獣被害防止総合対策交付金に係る実績として捕獲実績一覧表を入手します。一覧表は各市町により様式が異なりますが、一般的な様式を公開しますのでご参考としてください。
3	「仕様書 5（2）集計業務」の集計を行うデータは、過去何年分ですか。また、想定するサンプル数はいくつですか。	調査項目により異なりますが、1年から数年分となります。サンプル数についても調査項目により差がありますが、およその目安としては、紙からの生データ入力で1,300サンプル前後、エクセル等既存データからの入力で400サンプル前後になると認識しています。
4	「仕様書 5（3）ア 目的」について、集計データをプロットする地図の想定はどのような種類ですか。また、地図を作成するソフトウェア等の想定があれば教えてください。	地図を作成するソフトウェア等の想定はありませんので、ご提案の範囲内で対応したいと考えております。
5	「仕様書 5（3）イ 使用するデータ」について、地図化に用いる位置情報はどのような形式ですか。また、GISに対応していますか。	基本的には大字レベルであり、緯度経度など詳細な位置情報は求めていないため、そのままではGISに対応できません。
6	「効果的な活用研修業務」の開催に係る会場手配は受託者が行いますか。また、会場使用料は受託者の負担ですか。	会場の手配から支払いまでの一連の経費は受託者負担となります。
7	「効果的な活用研修業務」の募集、参加者取りまとめ、オンライン配信（受講者へのURL送信を含む一切）及び進行は受託者が行いますか。	受託者で実施していただきます。